

7月のねらい及び今月の各クラスの自己評価・自己評価を踏まえての改善点・保護者と地域への子育て支援

月のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな夏の遊びを楽しむ。(水遊び・色水遊び・プール遊びなど。) ・暑い時期の生活の仕方を身につける。(木陰で遊ぶ・水分補給・汗を拭くなど。)
-------	--

クラス名	年長児(さくら組)	年中児(うめ組)	年少児(たんぽぽ組)
自己評価	水に関わる遊びを積極的に取り入れて楽しむことが出来た。活動前の排泄や水分補給、衣服を整えること等を含め、暑い時期の過ごし方も意識している姿が見られた。「着替えの前の大切なことは？」と毎回振り返ることで次第に自分で意識することが出来るようになっていった。	天候にも恵まれて楽しみにしていた水遊びや泥んこ遊びを沢山取り入れる事ができ、少しずつではあるが約束事を知り、守りながら楽しむ事ができた。また家庭では中々体験する事ができない絵の具を使った製作を取り入れ、絵の具の使い方や楽しさを味わっていた。	プールや泥んこ遊び、夏ならではの遊びを積極的に取り入れていくことが出来た。プールは楽しいけれど危険もいっぱいあるという事を繰り返し伝えていくが、楽しい気持ちが高まるとまだまだ危険な行動も多い。ダイナミックな動きで楽しむ姿が多く、楽しい反面危険も伴うので、見守りながらも危険を感じたらすぐに止められるように意識しつつ、楽しむことが出来た。
自己評価を踏まえての改善点	活動終了の知らせを受けたらすぐにプールから上がり、着替えをするということに苦手さを感じていた。まだ遊びたい気持ちを我慢して次の活動に気持ちを切り替えて行動することが出来るように働きかけていきたい。思い切り遊び、満足することで次への切り替えがスムーズになると考えられるため、遊びを充実させることを意識して展開していきたいと思う。	水遊びの際、期待、楽しさからか興奮状態になり、話を聞く事に対する気持ちが薄れていたように感じる。笛を合図にしたり、声掛けを工夫して対応していく。今後も聞いてもらえるような働きかけを行っていききたいと思う。	プール遊びの際の危険な行動、ダイナミックな動き、全体に目を向けているつもりでも、見えていないところがある。一緒に遊びながらも全体を、常に意識していきたい。また、プールに限らず、手持無沙汰にすることないように、活動を充実させていきたい。気持ちも体も満たされる活動、関りを考えていきたい。
保護者と地域への子育て支援	お帳面でのやり取りの中で家庭での様子や支援を必要としている部分について共に考えて援助方法を模索していった。園生活で行って見た援助でどんな様子が見られたのかを共有し、家庭と園とが一体となって育ちをサポート出来る環境作りを続けていきたいと思う。	園での様子今の姿、育ちを知らせていきながら共に考え、成長しながら一人一人に合わせた対応を行っていききたい。また分かりやすいように具体的な状況を詳細に伝える事で安心して園に預けてもらえるようにする。	連休があり、疲れも出てくる。園での様子と家庭での様子をお帳面を通してのやり取りの中で一人一人との関わり方、援助を家庭と共に考えて実践していきたい。
クラス名	2歳児(すみれ組)	1歳児(ふたば組)	0歳児(つぼみ組)
自己評価	水遊びを多く行う事が出来た。水が顔にかかることを嫌がる子もいたが、水に慣れ遊びが大きくなるにつれて気にせず遊ぶことが出来た。園庭の大きなプールに入ると、肩まで水に浸かりひよこ歩きをしたり、足をバタバタさせ水の中で体を動かす事を楽しむことが出来た。	水遊びを積極的に取り入れていった。顔に水がかかる事を嫌がる子や濡れる事に抵抗がある子もいたが、回数を重ねるにつれ徐々に慣れ楽しんで水遊びを行う事ができた。つぼみ組と一緒に水遊びを行う事で、スムーズに着替えや活動を行う事ができたと感じる。	天気の良い日は水遊びを積極的に取り入れた。ふたばぐみと一緒に活動する機会が増え、1歳低月齢児も一緒に過ごすことが出来良かった。歩けるようになり視野が広がったことで、いろいろなことに興味を持つようになり、より活発に行動することが増えた。
自己評価を踏まえての改善点	水遊び、泥遊びは取り組めたが、計画していた色水遊びが出来なかったため、来月取り入れて行きたい。水に慣れ動きが大きくなってきている為、事故・怪我が無いように気を付けていく。着替えで自分ですりようとする姿が増えてきている為、取り組みやすい環境を整えていきたい。	発熱や咳など体調を崩し欠席する子が多かった。気温が高い日が続いたり、水遊びを行った事で疲れが溜まっている事が考えられる。十分に休息が取れるよう安心して睡眠できる環境や、楽しんで食事ができる雰囲気を作っていきたい。	・体調を崩す子もいたため、室温や水分補給にも気を付けて過ごした。活発に行動する事が増えたため、より一層動ける場所の確保や転倒等の事故には十分気を付けて過ごしていく。食事や睡眠も十分に取れるように、沢山体を動かした活動をもっと取り入れていきたい。
保護者と地域への子育て支援	暑さのためか体調を崩す子が増えてきている為、帳面で体調等のやり取りを行い、一人ひとり快適に過ごせるようにしていく。 トイトレニングで成功が続き自信がついてきている為、挑戦していることや方法を知らせ、家庭でも取り入れやすいようにしていきたいと思う。	子どもの様子や体調についてお帳面や口頭で密に情報共有することで、無理なく園生活が送れるようにしていった。またトイトレニングが始まった子もいるので、具体的に様子を伝える事で、園と家庭とで足並みを揃え育ちを共有していきたい。	・園での様子(活動や体調)を分かりやすくお帳面で伝え、体調不良時は休息や受診につなげ早期回復をしていきたい。また、ひとりひとりに合わせた園での援助の様子を知らせながら家庭と共通理解をし、子どもの成長と一緒に見守っていく。